一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
2025 年度定時社員総会

日時　2025 年 6 月 11 日（水）14：00
会場　唐津シーサイドホテル虹
（佐賀県唐津市東唐津 4-182）

次　　第

1　報告事項

・報告事項 1　2024 年度事業報告について

・報告事項 2　2025 年度事業計画及び収支予算について

2　決議事項

・議案第 1 号　2024 年度決算の承認について

・議案第 2 号　定款の変更について

・議案第 3 号　理事の辞任に伴う後任者の選任について

・議案第 4 号　任期満了に伴う監事の選任について

（定時社員総会報告事項）

報告事項１

2024 年度事業報告について

定款第 39 条の規定により 2024 年度の事業報告について事業報告書を作成、監事の監査を受け、理事会の承認を得たので、同条第 2 項の規定により報告する。

１　事業報告書　別紙のとおり

２　監査報告書　別紙のとおり

2025 年 6 月 11 日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事　山﨑　信二

2024 年度事業報告

自 2024 年 4 月　1 日
至 2025 年 3 月 31 日

1　組織活動

(1) 定時社員総会

日　時：2024 年 6 月 11 日（火）14:00～14:50
会　場：唐津シーサイドホテル西館 大宴会場「虹」（佐賀県唐津市東唐津 4-182）
出席数：105 会員（議決権対象 126 会員）　うち議決権行使書の提出 68 会員
内　容：報告事項１　2023 年度事業報告について（了承）
報告事項２　2024 年度事業計画および収支予算について（了承）
議案第１号　2023 年度決算の承認について（原案通り可決承認）
議案第２号　任期満了に伴う理事の選任について（原案通り可決承認）
議案第３号　定款一部改訂（案）について（原案通り可決承認）

記念講演
15:00-16:00　記念講演「化粧品産業の現在とこれから」
講　師：堀部　敦子氏
経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ
生物化学産業課　生物多様性・生物兵器対策室長

(2) 理事会

理事会設置法人として、次のとおり理事会を開催した。

第１回　5 月 22 日（水）	・定款の変更について
	・2023 年度事業報告の承認について
	・2023 年度収支決算の承認について
	・2024 年度定時社員総会の招集の決定について
	・株式会社 KaratsuStyle 株主総会決議事項の承認について
第２回　6 月 11 日（火）	・会長及び副会長の選定について
第３回　9 月 19 日（木）	・顧問の設置（更新）について
第４回　12 月 17 日（火）	・中期計画について
	・2025 年度事業方針について
	・顧問の設置（更新）について
第５回　3 月 21 日（金）	・2025 年度事業計画及び収支予算について
	・定款の一部変更について
	・規程等の一部改訂について

2　新市場開拓事業

（１）海外輸出支援事業

JCC 会員及び地域産業の海外参入を促進するため、展示会への出展支援、相談対応、

また必要な知識を提供するセミナー等を実施した。

【展示会】10/16-17 COSMETIC 360 @CARROUSEL DU LOUVRE PARIS（フランス）

JCC ブース　共同出展：2 社

National Pavilion Japan　出展　4 テーマ

・ノウハウ／カルチャー　：日本の美について（日本輸入化粧品協会執筆）

・トレーニング　：佐賀大学化粧品科学共同研究講座／支援大学との連携紹介

・リサーチ　：寄附企業（会員）SILAB NORTH EAST ASIA KK の事業紹介

・ローカル・イニシアティブ：JCC／コスメティック構想の紹介

【商談会】8/28-30　韓国コスメ企業商談会　@韓国

韓国企業 4 社と日本企業 2 社の商談会を実施。

【セミナー】

4/8 「台湾 PIF 制度セミナー～対応が急がれる 2024 年 7 月始動の台湾 PIF 制度に向けて～」 @東京＋online　参加者：61 名（会場 6 名）

12/11　「サウジアラビア・UAE・インド向けの化粧品輸出規制について」 @東京＋online 参加者：55 名（会場 14 名）

2/12　「はじめてのインドネシア販路開拓セミナー」@online　参加者：23 名

3/12　「中国の化粧品規制に関する完全ガイド」@online　参加者：26 名

【相談対応】容器開発支援、海外企業の日本製商品開発支援等　5 件

・2018 年度ジャパンブランド事業フォロー：グラース香り開発支援

（２）地域コスメ販路開拓支援事業

展示会への出展、また催事等により JCC 会員及び九州各県の地産素材を活かしたコスメ商品の国内販路開拓を支援した。

【展示会】9/30-10/2　Diet＆Beauty Fair 2024　@東京ビッグサイト

JCC ブース　共同出展：5 社

9/25-27　第 5 回化粧品開発展［大阪］@インテックス大阪

※佐賀県ブース内に出展

・九州コスメプロジェクト：店舗、イベントでの販売支援

店舗販売：　JCC ポップアップギャラリー@唐津市

イベント：　11/9-10　エネ IKU in 玄海・唐津　WS 実施@唐津

11/17 SAGAn Beauty Weekend 2024 ブース出展・WS 実施@佐賀

【相談対応】商品開発支援等　3 件

3　産業創出事業

（１）産学連携プラットフォーム構築事業

国内外のコスメ関連研究者のネットワークを構築することにより、新技術を創発する場を創造するとともに、産業界に資する人材育成の体制を整備した。

【共同研究】

（継続）城西大学×佐賀大学×玄海町薬用植物栽培研究所×JCC

玄海町薬用植物栽培研究所の未利用部位を中心とした機能分析

【セミナー】

12/6　「化粧品産業のこれからを考える～変容する世界で広がる可能性／研究・開発の視点から～」@東京理科大学オープンカレッジ　参加者：31 名

2/6　佐賀大学共同研究講座「化粧品科学講座」×「さが藻類産業共同研究講座」「自然の恵を美に活かす～藻類バイオテクノロジーが拓く新しいコスメの世界～バイオマスセミナー」@佐賀大学　参加者：85 名

3/18　唐津市共催「コスメ×環境セミナーvol.1」@online　参加者：20 名

・中高大連携事業

8/26-28　唐津市立第一中学校　職場体験学習受入れ

10/4　佐賀大学農学部「コスメ産業学」講話企画、実施

2/25　佐賀県立唐津西高等学校「総合的な探求の時間」学習支援

3/9　福岡市科学館中高生のためのサイエンスカフェ　講師、企画支援

3/16　佐賀大学生企画イベント プロから習う!!実践型メイク講座（共催）

通年　唐津商業高校「からつ学美舎」活動支援（販売体験等）

通年　東京理科大学オープンカレッジ「化粧品関連講座」協賛

（２）海外クラスター連携事業

グローバルコスメティッククラスター（GCC）との交流・連携の強化を中心に海外の最新の情報を収集し、JCC のグローバル展開の促進を図った。

海外提携クラスター（6 団体）・グローバルコスメティッククラスター（GCC）との連携

・GCC: BtoB business platform を活用したビジネスマッチング支援

・GCC: コミュニケーション委員会への参画

・各国市場動向ウェビナー企画

カナダ（5/14, 6/17）イタリア（11/15, 11/26）日本（1/29, 2/5）イギリス（3/19, 3/26）

・6/20　フランス Cosmetic Valley 設立 30 周年記念式典参加

・10/15　GCC 総会参加

・12/2-3　タイ TCOS 設立 10 周年記念イベント参加

・イタリア Polo Tecnologico della Cosmesi 設立 10 周年、
スペイン Beauty Cluster 設立 10 周年　祝賀動画の送付

（３）会員ネットワーク形成事業

会員企業のニーズの高い内容のセミナー等を開催、また会員企業等の相談に対し相談対応及び活動支援を行った。

【セミナー】

（再掲）4/8 「台湾 PIF 制度セミナー」@東京＋online

（再掲）12/11　「サウジアラビア・UAE・インド向けの化粧品輸出規制について」
@東京＋online
（再掲）　2/12　「はじめてのインドネシア販路開拓セミナー」@online
（再掲）　3/12　「中国の化粧品規制に関する完全ガイド」@online
（再掲）　3/18　唐津市共催：コスメ×環境セミナーvol.1　@online

【相談対応】
相談件数 61 件（前年度比+16）
（国内 44 件、海外 17 件／原料探索 8 件、販路開拓 7 件、他産学連携・商品開発等）

（４）立地創業活動支援事業
本地域への産業集積を促進するため、国内外企業の有力案件の発掘を行った。

【誘致企業（外資）】
・3/12　Aurum Fancy Limited Company（台湾・会員）日本法人設立（唐津市内登記）

4　地域ブランド事業
（１）情報発信事業
JCC の取組成果や会員企業、地域の魅力を、多様な媒体を駆使して国内外に発信した。
・佐賀コスメギフトプロジェクトスタート：
一般社団法人バンクフォースマイルズが実施する、日本全国のシングルマザーら経済的困難を抱える世帯に、リニューアルに伴う旧仕様品や未開封の店頭販売品といった、化粧品メーカーが持つ余剰在庫の化粧品の寄付を募り、ギフトとして詰め合わせたセットを、支援団体などを通じて無償提供するプロジェクトを佐賀県内で推進
5/15-17　712 世帯、2/7-14　882 世帯配布
2/3　佐賀コスメギフト基金設立
・ホームページ運営　セッション数　178,851／ユーザー数　12,279／PV　67,910
・ウェブマガジン発行　　7 件
・メールマガジン　　50 件、登録者数 1,204 件（前年度比 41 件増）
・SNS アカウント（Instagram、Facebook、LikedIn）
フォロワー数 Facebook：26、Instagram：322、LinkedIn：326
・10/21（土）会員企業事業支援　加唐島椿油 PR イベント@唐津市旧大島邸

（２）地域原料開発支援事業
地産原料の探索、地域資源を活用した原料の開発支援や相談対応を通じて、地産素材の活用促進と地域発原料供給を促進するための事業を行った。
・化粧品原料受託試験栽培
品目：ハーブ、樹木等 7 種　栽培地：唐津市、玄海町　栽培面積：約 13 反
・佐賀県内素材を活用した化粧品原料開発、供給等支援
佐賀県内素材に関する情報収集、相談対応

・玄海プロジェクト（薬草生産組合活動支援）
　共同研究：玄海町薬用植物栽培研究所の未利用部位を中心とした機能分析（再掲）
　玄海町薬草生産組合滑動支援
・5/3　ウンシュウミカン花摘みイベント実施→蒸留水を化粧品原料に

5　専門人材配置事業
（１）専門人材配置
当会活動を効果的・効率的に進めるため、専門人材を配置して業務を遂行した。
8 名
・事務局長：1 名
・コーディネーター等：4 名（国際 1 名、製販 1 名、原料 2 名）
・ショーケース（JCC ポップアップギャラリー）担当：1 名
・原料担当：１名
・非常勤職員（国際担当）：１名

6　会員の状況
（１）2024 年度末

	2023 年度末	2024 年度末（2025 年 3 月 31 日時点）	
正 会 員	106	100	（継続 92　、新規 8　）
支援会員	25	26	（継続 25　、新規 1　）
計	131	126	

監　査　報　告　書

2025年5月13日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事　山﨑　信二　殿

監　事　岩田　充彦
監　事　泉　謙吾

私、監事は、当会の2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1　監査の方法及びその内容

私、監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類について検討いたしました。

2　監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

①　事業報告は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、当会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

（定時社員総会報告事項）

報告事項２

2025 年度事業計画及び収支予算について

定款第 38 条の規定により 2025 年度の事業計画及び収支予算を作成し、理事会の承認を得たので報告する。

１　事業計画書　別紙のとおり

２　収支予算書　別紙のとおり

2025 年 6 月 11 日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事　山﨑　信二

（定時社員総会報告事項２別紙）

2025 年度事業計画及び収支予算修正案について

１　変更の目的

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター中期計画（2025 年度-2029 年度）策定（2024 年 12 月理事会にて承認）を受け、事業セグメント区分及び名称を変更するもの。従来の事業内容の区分から対象エリアによる区分を行うことで、事業間の連携促進、また適切なリソースの分配による事業の成長と効率化を目指すもの。

２　変更内容

報告セグメント変更及びセグメント名称変更

変更前

事業名	
1. 新市場開拓事業	
	(1) 海外輸出入支援事業
	(2) 地域コスメ販路開拓支援事業
2. 産業創出事業	
	(1) 産学連携ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ構築事業
	(2) 海外クラスター連携事業
	(3) 会員ネットワーク形成事業
	(4) 立地創業活動支援事業
3. 地域ブランド事業	
	(1) 情報発信事業
	(2) 地域原料開発支援事業
4. 専門人材配置事業	
	(1) 専門人材配置

変更後

事業名	
1. 地域ブランド事業	
	(1)コスメ構想情報発信事業
	(2) 地域原料開発支援事業
	(3) 立地創業活動支援事業
	(4) 情報発信事業
2. 産業創出事業	
	(1) 会員ネットワーク形成事業
	(2) 産学連携ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ構築事業
3. 海外ネットワーク構築事業	
	(1) 海外クラスター連携事業
	(2) 海外輸出入支援事業
4. 専門人材配置事業	
	(1) 専門人材配置

※下線は名称変更

地域コスメ販路開拓支援事業　　→コスメ構想情報発信事業

新市場開拓事業　　→海外ネットワーク構築事業

（定時社員総会報告事項２別紙）

2025 年度事業計画案

JCC は、2025 年度より新たな中期計画（2025-2029）に基づき、今後の JCC 拡大・発展のもととなる基盤事業を確立していく。化粧品業界におけるサステナビリティ志向の高まりや法規制の変動などに対し、最新の情報を会員に届けるなど柔軟に対応を進めていく。特に、アジアとの連携強化、会員基盤の拡大、県内コスメ原料の栽培と供給体制の強化に重点を置く。
提携クラスターを中心としたアジア市場におけるパートナーシップの拡充や、会員と連携した規制対応のサポートなど、会員企業の海外市場での競争力を高めるサポートを行う。
また、唐津市・玄海町における原料栽培の取り組みをさらに発展させ、安定的な供給体制の確立を目指す。
会員企業との関係強化を図り、JCC の活動をより多くの企業・団体に届けるために、情報提供や支援の充実を進める。さらに、自治体や関係機関との連携を深め、適正な事業運営と持続可能な成長を両立する。
これらの取り組みを通じ、会員企業の企業価値向上と、佐賀県の化粧品関連産業の発展を促し、地域経済の活性化を推進する。

【総括表】

事 業 分 野	事 業 名
1　地域ブランド事業	(1) コスメ構想情報発信事業
	(2) 地域原料開発支援事業
	(3) 立地創業活動支援事業
	(4) 情報発信事業
2　産業創出事業	(1) 会員ネットワーク形成事業
	(2) 産学連携プラットフォーム構築事業
3　海外ネットワーク構築事業	(1) 海外クラスター連携事業
	(2) 海外輸出入支援事業
4　専門人材配置事業	(1) 専門人材配置

（定時社員総会報告事項２別紙）

１　地域ブランド事業

アジアで一番コスメビジネスがしやすい都市『コスメ県 SAGA』

目的：佐賀県独自のコスメブランド価値を確立し、全国・海外に向けた認知度向上と販路拡大につなげる。

（１） コスメ構想情報発信事業

JCC 会員及び九州各県の地産素材を活かしたコスメ商品の国内販路開拓、および会員間のマッチングを支援。JCC・コスメティック構想の認知度向上を図る。

- ○　国内展示会共同出展
  - 1/14-16 第 16 回化粧品開発展［東京］@東京ビッグサイト
- ○　JCC ポップアップギャラリーを活用した販促支援、情報発信
- ○　商品開発等相談対応

（２） 地域原料開発支援事業

耕作放棄地を活かしたハーブ栽培など新たなビジネスモデルの創出を図るとともに、地域素材とコスメ企業のマッチングを促進する。

- ○　ACRO 化粧品原料受託栽培
- ○　玄海プロジェクト
  - 玄海町薬草組合活動支援
  - 未利用資源（生薬未利用部）活用支援：共同研究成果の実装化
- ○　佐賀県産素材の原料開発支援/活用促進
- ○　耕作放棄茶畑整備による茶の実油生産体制の構築

（３） 立地創業活動支援事業

国内外の進出可能性のある企業へのアプローチを行うとともに、佐賀県の資源（人、施設、風土等）を体験する機会の提供により企業誘致及び起業の関心喚起

- ○　佐賀県内コスメ関連施設の視察ツアー

（４） 情報発信事業

JCC の取組や、会員企業の情報、地域の魅力を様々な媒体を活用して国内外に発信し、JCC・コスメティック構想の周知を図る。

- ○　国内向け情報発信：Instagram、ウェブマガジン等を活用した情報発信
- ○　海外向け情報発信：ニュースレター、LinkedIn 等を活用した情報発信
- ○　ふるさと納税企業版、個人版情報発信、寄附募集

（定時社員総会報告事項２別紙）

２　産業創出事業

コスメティック産業のコラボレーション Hub に

目的：会員間のネットワーク形成を基盤とし、会員間のコラボレーションを促進するとともに、JCC のコーディネート機能強化を図る。

（１） 会員ネットワーク形成事業

会員企業のニーズに応じたセミナー、交流会等による、会員間の交流促進、マッチング等の支援および相談対応を行う。また、「コスメ×〇〇」として、他業種と連携した事業を推進、新たなビジネスの創出を図る。

- 〇 企業活動支援・相談対応
- 〇 会員や地域のニーズに応じたセミナー及びネットワーキングを開催
- 〇 会員情報の発信

（２） 産学連携プラットフォーム構築事業

支援大学を中心とした会員企業との共同研究促進、マッチングを支援することにより、新技術を創発する場を創造するとともに、産業界に資する人材育成を支援する。

- 〇 共同研究支援（特許活用支援）
- 〇 産学官連携の深化

（定時社員総会報告事項２別紙）

３　海外ネットワーク構築事業

アジアを代表する国際コスメティッククラスターに

目的：今まで培ってきた国際ネットワークを活かし、アジアを中心とする海外市場への展開と佐賀県の国際的認知度向上を図る。

（１） 海外クラスター連携事業

グローバルコスメティクスクラスター（GCC）並びに海外提携クラスターとの交流・連携の強化により JCC のグローバル展開の促進を図る。

- ○ GCC Asia（韓国、タイ、台湾、日本）設立、交流企画実施
- ○ 海外視察ツアー
- ○ GCC B2B Businessplace の活用・JETRO 連携

（２） 海外輸出入支援事業

外部機関と連携し、JCC 会員及び地域企業の輸出入を促進する。

- ○ 海外展示会　共同出展／出展支援
- ○ 海外市場・法規制セミナー

４　専門人材配置事業

人員配置：

事務局長　１名

コーディネーター等　３名（国際１名、製販１名、原料１名）

JCC ポップアップギャラリー担当　１名

原料担当　１名

事務職員　２名

※職員２名を新規採用

事務局次長　１名

原料担当　１名：地域原料開発支援業務

（定時社員総会報告事項 2 別紙）

2025 年度収支予算書案

（単位：千円）

収入の部				
科　目	**2025 年度**	**2024 年度**	**増減額**	**摘　要**
会費収入	4,500	4,500	0	
負担金収入	42,000	42,000	0	県：22,400 市：14,000 町： 5,600
補助金等収入	0	0	0	
事業収入	12,830	5,500	7,330	
寄附収入	10,023	0	10,023	ふるさと納税（企業版・個人版）
繰越金	6,604	9,000	△2,396	
収入の部計	**75,957**	**61,000**	**14,957**	

（定時社員総会報告事項２ 別紙）

支出の部				
科　目	2025 年度	2024 年度	増減額	摘　要
事業費	**61,915**	**45,000**	**16,915**	
地域ブランド事業	14,600	4,800		
・コスメ構想情報発信事業	1,750	1,500	250	
・原料開発支援事業	11,150	2,000	9,150	
・立地創業活動支援事業	500	300	200	
・情報発信事業	300	1,000	△700	
（活動費）	900		900	
産業創出事業	2,220	1,200		
・会員ネットワーク形成事業	1,500	1,000	500	
・産学連携ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ構築事業	20	200	△180	
（活動費）	700		700	
海外ネットワーク構築事業	5,450	6,500		
・海外クラスター連携事業	3,100	4,500	△1,400	
・海外輸出入支援事業	2,250	2,000	250	
（活動費）	100		100	
専門人材配置事業	39,645	32,500	7,145	
・専門人材配置事業	39,645	30,000	9.645	新規２名
・専門人材活動費		2,500	△2,500	事業費に配分
管理費	**14,042**	**16,000**	**△1,958**	
会議費	2,680	2,500	180	
管理費	6,090	5,500	590	
事務費	5,272	8,000	△2,728	
予備費		0	0	
支出の部計	**75,957**	**61,000**	**14,957**	

セグメント変更により各事業費計については増減額を計上していない

（定時社員総会議案）

議案第１号

2024 年度決算の承認について

定款第 39 条第 1 項の規定により 2024 年度の決算について計算書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を得たので、同条第 2 項の規定により承認を求める。

１　計算書類　　別紙のとおり

２　監査報告書　別紙のとおり

2025 年 6 月 11 日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事　山﨑　信二

貸　借　対　照　表

2025年3月31日　　現在

(単位：円)

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,752,768	30,499,553	△ 13,746,785
小口現金	49,822	50,656	△ 834
信金口座	2,205,652	5,580,357	△ 3,374,705
収益事業収入口座	7,610,431	3,548,942	4,061,489
大口口座	5,263,642	19,413,539	△ 14,149,897
代表口座	1,623,221	1,905,936	△ 282,715
外貨現金	0	123	△ 123
原材料	0	0	0
貯蔵品	109,256	121,532	△ 12,276
前渡金	0	902,821	△ 902,821
前払費用	721,237	1,084,926	△ 363,689
立替金	4,000	998	3,002
仮払金	0	0	0
未収入金	4,273,974	2,547,964	1,726,010
仮払税金	0	250,300	△ 250,300
貸倒引当金	0	0	0
流動資産合計	21,861,235	35,408,094	△ 13,546,859
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物付属設備	1	1	0
機械装置	31,308	224,921	△ 193,613
工具器具備品	889,363	923,851	△ 34,488
一括償却資産	0	0	0
有形固定資産合計	920,672	1,148,773	△ 228,101
(2) 無形固定資産			
システム構築費	0	0	0
無形固定資産合計	0	0	0
(3) 投資その他の資産			
出資金	0	0	0
投資有価証券	3,000,000	3,000,000	0

敷金	253,440	253,440	0
長期前払費用	55,550	441,650	△ 386,100
投資その他の資産合計	3,308,990	3,695,090	△ 386,100
固定資産合計	4,229,662	4,843,863	△ 614,201
3. 繰延資産			
ウェブサイト	0	0	0
JCCHP	1,402,500	1,963,500	△ 561,000
繰延資産合計	1,402,500	1,963,500	△ 561,000
資産合計	27,493,397	42,215,457	△ 14,722,060
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0	0	0
未払金	6,608,821	6,292,019	316,802
前受金	62,860	0	62,860
預り金	78,456	106,445	△ 27,989
仮受金	0	0	0
未払消費税	440,100	394,800	45,300
未払法人税等	71,000	35,500	35,500
流動負債合計	7,261,237	6,828,764	432,473
負債合計	7,261,237	6,828,764	432,473
Ⅲ 正味財産の部			
1. 一般正味財産	20,232,160	35,386,693	△ 15,154,533
正味財産合計	20,232,160	35,386,693	△ 15,154,533
負債及び正味財産合計	27,493,397	42,215,457	△ 14,722,060

正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	51,117,558	50,052,444	1,065,114
会費収入	4,010,000	4,320,000	△ 310,000
負担金収入	42,000,000	42,000,000	0
委託事業収入	0	0	0
事業収入	5,063,474	3,679,444	1,384,030
その他収入	44,084	53,000	△ 8,916
(2) 売上原価	37,810	186,182	△ 148,372
原料仕入	0	0	0
その他仕入	37,810	186,182	△ 148,372
経常収益計	51,079,748	49,866,262	1,213,486
(2) 経常費用			
広告宣伝費	5,711,173	4,867,538	843,635
荷造運賃	734,208	160,442	573,766
給与手当	27,279,253	22,896,607	4,382,646
法定福利費	4,297,649	3,730,421	567,228
厚生費	114,771	152,764	△ 37,993
研修費	6,000	14,500	△ 8,500
賃借料	3,131,347	4,056,507	△ 925,160
地代家賃	1,013,760	1,013,760	0
修繕費	236,170	533,060	△ 296,890
消耗品費	687,099	414,719	272,380
水道光熱費	130,966	120,371	10,595
旅費交通費	9,286,571	6,023,558	3,263,013
手数料	313,572	176,443	137,129
租税公課	1,141,636	431,799	709,837
渉外慶弔費	972,926	2,556,098	△ 1,583,172
保険料	258,949	233,969	24,980
通信費	668,266	689,593	△ 21,327
諸会費	412,190	438,700	△ 26,510
図書印刷費	65,440	63,824	1,616
支払報酬	4,998,974	8,089,117	△ 3,090,143

支払負担金	0	0	0
委託料	3,238,428	6,360,556	△ 3,122,128
会議費	33,140	39,959	△ 6,819
調査費	0	1,995,000	△ 1,995,000
試験研究費	220,000	495,000	△ 275,000
雑費	27,760	99,400	△ 71,640
有形固定資産償却費	228,098	71,480	156,618
一括償却資産償却費	0	0	0
無形固定資産償却費	0	0	0
繰延資産償却費	947,100	947,100	0
貸倒引当金繰入	0	0	0
経常費用計	66,155,446	66,672,285	△ 516,839
当期経常増減額	△ 15,075,698	△ 16,806,023	1,730,325
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取利息	12,140	415	11,725
受取配当金	0	300	△ 300
雑収入	863,734	928,422	△ 64,688
貸倒引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	875,874	929,137	△ 53,263
(2) 経常外費用			
支払利息	0	0	0
寄附金	200,000	200,000	0
雑損失	683,709	11,779	671,930
経常外費用計	883,709	211,779	671,930
当期経常外増減額	△ 7,835	717,358	△ 725,193
経常利益	△ 15,083,533	△ 16,088,665	1,005,132
税引前当期純利益	△ 15,083,533	△ 16,088,665	1,005,132
法人税住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,154,533	△ 16,159,665	1,005,132
一般正味財産期首残高	35,386,693	51,546,358	△ 16,159,665
一般正味財産期末残高	20,232,160	35,386,693	△ 15,154,533
Ⅱ　正味財産期末残高	20,232,160	35,386,693	△ 15,154,533

監　査　報　告　書

2025年5月13日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事　山﨑　信二　殿

監　事　岩田　充彦
監　事　泉　謙吾

私、監事は、当会の2024年4月1日から2025年3月31日までの2024年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1　監査の方法及びその内容

私、監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法によって、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類について検討いたしました。

2　監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

①　事業報告は、法令及び定款に従い、当会の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、当会の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

（定時社員総会議案）
議案第２号

定款の変更について

１　変更内容

（1）定款第５条（公告方法）の変更

当法人の定款第５条において、公告方法を「官報に掲載する方法」と定めているが、原則「電子公告により行う」方法に変更を行うもの。

（2）定款第３６条（議事録）の変更

当法人の定款第３６条において、理事会の議事録を「署名し、又は記名押印する」と定めているが、「電子署名」も可能とする変更を行うもの。

2　改正案

改　正　案	現　　行
（公告方法） 第5条　当法人の公告は、電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。 （議事録） 第36条　理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成し、出席した理事及び監事が署名若しくは記名押印又は電子署名を行う。 附則 この定款は、2025年6月　　日から施行する。	（公告方法） 第5条　当法人の公告は、 官報に掲載する方法により行う。 （議事録） 第36条　理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成し、出席した理事及び監事が署名し、又は記名押印する。

３　電子公告を行うＵＲＬについて

電子公告を行うウェブページのアドレスについては次の通り定める。

https://jcc-k.com/

2025 年 6 月 11 日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事　山﨑　信二

（定時社員総会議案）

議案第３号

理事の辞任に伴う後任者の選任について

理事２名の辞任に伴い、後任者の選任を提案する。
なお任期は、定款第 26 条第２項の規定により 2026 年度定時総会終結時までとする。

１　理事候補者２名

東　　泰史（佐賀県 産業労働部 ものづくり産業課　コスメティック産業推進室長）

藤井　謙策（唐津市 商工観光部からつブランド・ふるさと寄附推進課長 兼 コスメティック産業振興室長）

２　辞任する理事２名

藤井　三絵（佐賀県 産業労働部 ものづくり産業課　コスメティック産業推進室長）

平田　達也（唐津市 経済部 副部長 兼 企業立地課長 兼 就業推進室長）

2025 年６月 11 日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事　山﨑　信二

（定時社員総会議案）

議案第４号

任期満了に伴う監事の選任について

定款第 26 条第 1 項の規定により現監事全員の任期が本総会終結時をもって満了となるため、次のとおり監事 2 名の選任を提案する。

1　監事候補者 2 名

岩田　充浩　（唐津信用金庫　監査部調査役）

宗　　謙吾　（そう税理士事務所　税理士）

2025 年 6 月 11 日

一般社団法人ジャパン・コスメティックセンター
代表理事　山﨑　信二